

三月読みとりおけいこ①（中）

名前（ ）

三月三日はひなまつりの日ですね。ということで今日はひなまつりについて、くわしくなつていただきましょう。

そもそも、平安時代にはこれは上巳の節句といいまして。もともと一月一日・三月三日・五月五日・七月七日・九月九日は五節句といつて、何らかのおまつりをしていたのですが、そのうちのひとつです。

紙で人形を作り、息をふきかけて体内のけがれをうつし、川に流すなどしていたのです。今でも、奈良県の吉野や鳥取県には流しひびなの風習が残っています。

でも、だんだん流さないで家にかざられるようになります。江戸時代はどんどんひなだんがこうかになり、もつと小さいおひなさんにしなさいというおふれがでたりしています。

はじめはお公家さんやおさむらいの家のものだったひなざりは、ふつうの家にも広まっていきました。そして、嫁入り道具のひとつにくみこまれるようになったのです。基本はお内裏様といわれる男のおひなさまと女のおひなさまです。もとは男の方が向かって右（上座から見て左）でした。古来、右より左が上だとする考えがあつたからです。でも、明治時代に、男女同権の考えが入つてきて、大正天皇や昭和天皇は皇后と並ぶときに右（向かって左）に位置しました。それで、今はどちらでもいいことになりますし、地方によつてもちがいます。京都では、むかしながらのならべ方をするおうちが多いようです。

三人官女では真ん中が鉄漿をつけた年かさの人、五人囃子は向かって右から謡、笛、小鼓、大鼓、太鼓です。樂器が小さい順に右から並んでいるとおぼえておくとかぎりやすいですよ。音読サイン→

① 何の話でしょう？

（ ）

② ひなまつりのことを平安時代は何といいましてか？

（ ）

③ 五節句の五月の分は今何の日になつていますか？

（ ）

④ では、七月の分は何の日ですか？

（ ）

⑤ 人形のもうひとつのみ方を書きましょう。

（ ）

⑥ むかし、左大臣と右大臣ではどちらが上とされたのですか？

（ ）

⑦ 五人囃子の中で一番えらいとされたのは何をする人ですか？

（ ）

⑧ ⑨の人の持ち物は何ですか？

（ ） 何ももつていない（ ） 笛（ ） 太鼓

⑨ あつているものに○をつけましょう。

（ ） ひなかざりはむこいりの道具である。

（ ） 若い官女ははしつこに位置する。

（ ） 昭和天皇はいつも皇后のうしろだった。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

